

平成 18 年 1 月 11 日

各 位

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

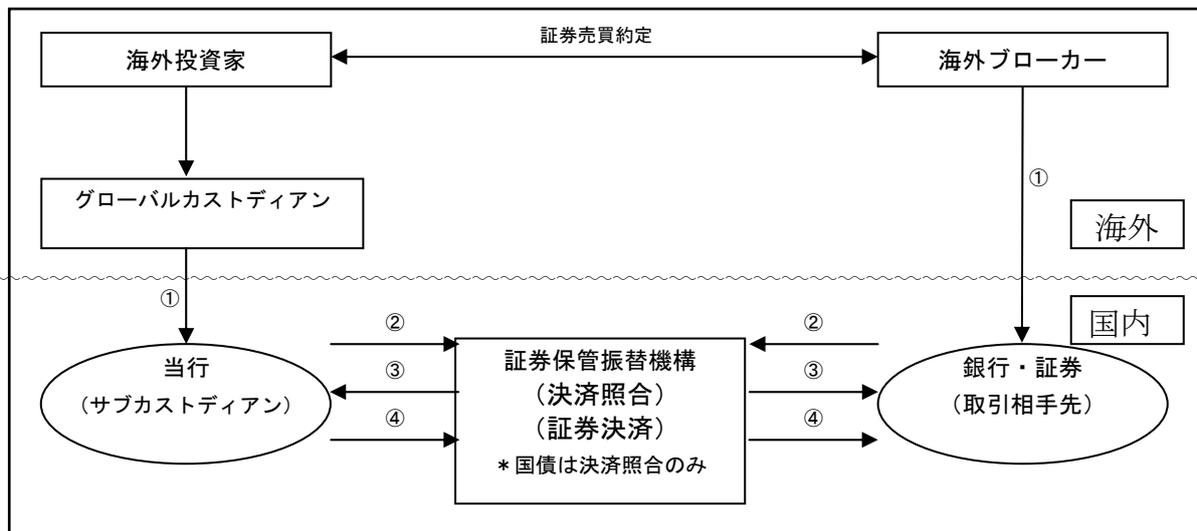
非居住者向けカストディ業務に係わる事務処理遅延発生について

当行の非居住者向けカストディシステム（本邦株式、国債等の保管・決済に関する業務システム）における証券保管振替機構（以下「保振」）との照合処理（以下フローチャート参照）において、昨日（1 月 10 日）実行予定の取引の一部（取引相手先 27 社／約 1,900 件）が昨日の業務終了時点で未処理となりました。

これは、保振との間でデータのエラーとなる事象が発生し、代替方法での決済も試みましたが、昨日中には全ての処理を完了させることができず、約 1,900 件が未処理となったものです。原因は、保振システムの仕様の設定に関し、一部連絡のミスがあり、これに起因するデータ授受の不具合が発生したためです。保振にご参加の金融機関ならびに関係各位に大変ご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

当該システムは昨日のうちに復旧済みであり、本日分については順調に処理いたしております。昨日業務終了時点で未処理となりました約 1,900 件についても、本日中に処理完了予定です。今後は確認の徹底など、業務プロセスのチェックをより一層強化し、かかる事態を繰り返すことのないよう努めてまいります。

本件は以下のフローチャートにおける②で障害が発生したものです。



- ① 海外顧客（グローバルカストディアン等）より決済指図を受領（主に SWIFT）
- ② 決済指図を基に、決済内容の相互確認（照合）のための電文を保振照合に送信
- ③ 保振では取引相手からの同様の照合電文とのシステム・マッチングを実施、照合結果を配信
- ④ 照合がマッチした取引について、保振内の口座振替による証券受け渡しを実施

以 上